

## 〈西方見聞録「世界はこんなふうだった」〉 活動報告書

伊東一郎

### \* 経緯と現状 \*

〈西方見聞録「世界はこんなふうだった」〉と題した2015年度 諸外国写真上映会 第1回 ネパール(1987～90)編は、開催会場となる中央構造線博物館(河本氏)および教育委員会(北村氏)との協議の結果、

企画：大鹿の100年先を育む会

主催：大鹿村中央構造線博物館

という形が会場確保・宣伝・経費等の上で妥当かつ好都合との結論になり、この形で実施することになった。

別添資料のとおり、2週間置きの日曜日に4話(4日)に分けて午後2時～4時、毎回500枚前後の写真を上映している。

来観者数は初日(1月10日)30名、2日目(1月24日)5名、3日目(2月7日)10名程度。4日目は2月21日。

### \* 実施してみた感想 \*

反響については今のところ不明。

自分の生活と全く無関係な異国とか異文化とかに対する興味は一般的という訳ではなく、まして大鹿村のような過疎の老齢社会では多くの来観者は望めない気もするが、少数でも興味を持つ人がいる限り継続することが重要と思われる。このような、異国・異文化を紹介する催しは大鹿村では前例がなく、私たちが止めてしまえば今後もないであろう。また近隣の町村で誰かがやっているというものでもない。継続してゆく中でどのような反響が出てくるか、興味深いように感じられる。

### \* 今後の予定 \*

今回のネパールは、ヒマラヤ山脈をひかえて地形的にも民俗的にも極めて多様で変化に富んでいて興味深い地域・場所が多かったため、ネパール一国だけを4話に分けて紹介したが、基本的には一国一話としたい。

また日本と類似した先進国よりも異文化度の高い途上国や日本人に馴染みの薄い地域や国々の風景を重点的に取り上げていく予定。

次回(来年度)はインドシナ5か国(ベトナム・カンボジア・ラオス・タイ・ミャンマー)を考えており、行きつ戻りつしながらも基本的に東から西へ向かって行きたい。

以上